

同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター

三好博昭 教授



同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター
三好博昭 教授

専門分野

- ・ 公共経済学
- ・ ミクロ経済学
- ・ 技術公共政策

キーワード

- ・ 自動運転
- ・ 文理融合

■研究紹介/活動プロジェクト

私は、同志社大学で、政策学部、大学院総合政策科学研究科、技術・企業・国際競争力研究センターという3つの組織に所属しています。政策学部への所属は今年度からで、この秋学期から2年生のゼミが始まりました。ゼミのタイトルは「シンクタンク研究員体験」というもので、ゼミ生が得意分野を連携させ共同で政策提言することを目指しています。総合政策科学研究科では、社会人学生の論文指導等を担当しています。社会人が学位を取得するのは、学部から来た院生とは質の異なる難しさがありますが、皆さん、職場で感じている「何故？」の解明のために、休日返上で取り組まれています。現在、受け持っている学生の研究テーマは、オープンイノベーションと企業の生産性、観光地の魅力の向上策といった内容です。

最後の技術・企業・国際競争力研究センターですが、私は、この組織を舞台にして研究活動をしており、昨年度からセンター長を務めています。この研究センターは、理工系領域の研究者と人文社会科学系領域の研究者の融合組織で、新しい技術に対応した社会のあり方を探求する未来志向の研究を推進しています。今年度は、この研究を推進するために、同志社大学の若手研究者をディレクターに迎え、実験社会科学の設備整備を行いました。今後、自動運転のトロロコ問題等、技術の社会利用に付随する諸問題に関して、この実験社会科学の手法を用いて貢献していきたいと考えています。

さて、私自身の研究ですが、いま、最も力を入れているのは自動運転の経済学的研究です。自動運転車の普及によって誰がどの程度の便益を享受するのか、自動運転実現のためのコストは誰が負担すべきか、自動運転を普及させるためにはどのような政策的措置が必

要か等を公共経済学の理論に基づいて研究しています。この研究については、ご縁があってITS Japanの内村孝彦常務理事に関心を持って頂き、SIP-adusの場で活かして頂く機会を得ました。

最後になりますが、来年2月で58歳になりますので、そろそろ、総仕上げを念頭に置きながら、残りの研究者生活を考えねばなりません。社会科学の力で交通事故撲滅に寄与するというのは10年前に頭に描いた理想でしたが、これは、今後変わらぬ一番の目標です。もう一つの目標は、理工学系と人文社会科学系との間にある深い深い溝の架け橋になることです。自動運転の議論は、このブリッジのプロトタイプを作る絶好のチャンスだと考えています。2018年のITSシンポジウムは同志社大学で開催されますが、ここで社会科学の存在感を高めるのが当面の目標です。

TEL: 075-251-3837

E-mail: hmiyoshi@mail.doshisha.ac.jp